



吉川三津子 議員

新庁舎は急がずコスト削減努力を

質問

庁舎事業費を、33億8千万円から41億5千万円に増額する議案が9月議会で上程され、私は反対したが可決された。

その後、市は議会に議場に関する削減案を8例示したが、議会は庁舎特別委員会で、削減額の一番少ない案(削減額1千240万円)に賛成4・反対3で決定した。まだ削減ができる。たとえば、理事者控室(議会中の職員控室)は、委員会室で現在兼用されており、支障なくできているではないか。

総務部長

将来を考えれば必要だろうと考え提案した。あれば会議にも活用できる。

質問

既存棟に多くの会議室が計画されている。無駄だ。

また、消費税率がアップするから建設を急ぐとの説明もあったが、総建設費が削減されれば消費税率が上がっても総額は下がる。急ぐ理由にはならないのではないか。

総務部長

年内に実施設計、年明けに入札のスケジュールがある。予算が35億円に近づけば、消費税が少なく済むことは理解している。更に削減努力をする。

副市長

耐震工事がされていない。また、防災無線工事が来年度で完了する。新庁舎ができないと約1年、宝の持ち腐れになるので急ぎたい。

落札額を上回る契約は、問題だ

質問

左表は、平成23年度から現在まで、落札額の20%以上が増額になっている工事等と、130万円以上増額変更した工事などを一部挙げた。

これらの落札金額の合計は、9億5千250万円であるのに、実契約額は10億7千614万円。1億2千364万円もの増額契約になっている。何のために入札制度かと、市民に不信感をもたらしてもやむを得ない。

変更契約の市のルールは。

企画部長

現在、策定に向けて各課の意見を集約している。

質問

「お手盛りだ」との中傷を職員が受けないために、他市では、20%を超えるか、130万円を超える変更契約の是非を判断する機関が設置されている。市の考えは。

企画部長

金額にこだわると、工期が遅れるといったデメリットがでる。

質問

そうした側面も否定はしないが、原則は厳しく定めるべきであり、変更契約を減らし、透明性を担保するために、変更契約を広く市民に情報公開すべきではないか。

企画部長

ホームページでの公開は、検討する。

落札額と実契約の比較(一部事例)

入札案件	落札額	実契約額	増額分	アップ率
舗装修繕工事	¥9,660	¥12,434	¥2,774	128.7%
地域内舗装工事	¥9,135	¥11,828	¥2,693	129.5%
道路改良工事(国庫)	¥34,650	¥40,215	¥5,565	116.1%
街路新設改良工事	¥78,750	¥83,809	¥5,059	106.4%
排水路改良工事	¥26,775	¥29,051	¥2,276	108.5%
公共下水道管路施設 北河田	¥74,655	¥93,475	¥18,820	125.2%
公共下水道管路施設 須依	¥47,775	¥61,984	¥14,209	129.7%
公共下水道管路施設 北一色	¥33,075	¥42,943	¥9,868	129.8%
公共下水道管路施設 大井	¥35,595	¥45,770	¥10,175	128.6%
公共下水道管路施設 大井	¥40,110	¥51,577	¥11,467	128.6%
配水管布設替等工事 勝幡	¥13,020	¥15,871	¥2,851	121.9%
下水道工事に伴う水道移 北河田	¥4,095	¥9,024	¥4,929	220.4%
佐屋小学校防球ネット等設置	¥19,215	¥21,312	¥2,097	110.9%

他事例も含む総合計額 ¥952,496 ¥1,076,135 ¥123,639